

15. 平成30年度大分県高等学校新人弓道競技大会実施要項

- 1 主催 大分県高等学校体育連盟
- 2 期 日 平成 30 年 10 月 6 日 (土) 8 : 30 ~ 監督会議 (予備日 : 10月13日)
9 : 20 ~ 開会式
9 : 40 ~ 団体戦予選 (1立目4矢)
13 : 10 ~ 団体戦予選 (2立目1手)
14 : 30 ~ 個人戦予選・決勝
17 : 30 ~ 終了式 (個人戦表彰式)
10 月 7 日 (日) 8 : 30 ~ 監督会議
9 : 00 ~ 開始式
9 : 20 ~ 団体戦予選 (3立目4矢)
13 : 00 ~ 団体決勝トーナメント
15 : 10 ~ 閉会式 (団体表彰式)
- 3 場 所 大洲総合運動公園弓道場 (大分市青葉町) TEL 097-551-2110
※監督会議は同会場の射場で行う。
- 4 競技規則 (公財) 全国高等学校体育連盟弓道競技規則及び (公財) 全日本弓道連盟競技規則による。
- 5 競技方法 (1) 種別は、①近的・立射 ②男女別 ③団体競技・個人競技 とする。
(2) 団体競技について (予選)
ア. 男子、女子の順に、4矢1立・1手1立・4矢1立 (チーム50射) を行う。
イ. 2チーム同時に行射する。
ウ. 上位8校を決勝トーナメント進出とする。
エ. 団体の同中競技は、各自1本ずつの競技とする。競技の選手は予選3立目のメンバーとする。
オ. 1チームの行射制限は、4矢は6分30秒以内、1手は4分30秒以内とする。
弦切れの場合、以後の射手は替弦を持たずに行射し、一巡したら正規の立順に戻る。
(3) 団体競技について (決勝トーナメント)
ア. 抽選により組み合わせを決定し、トーナメント方式で各自4射・チーム計20射を行う。
イ. 抽選は、予選における的中数の1位~4位チームをシードとし、残り4チームで抽選を行う。なお1位~4位チームが複数の場合は抽選によりシードチームを決定する。
抽選の順番については、プログラム記載順とする。
ウ. 同中の場合、各自1射ずつの競技を行い、勝敗を決定する。競技1本目は替矢を使用する。
エ. 決勝戦の前に、1手競技による三位決定戦を行う。
(4) 個人戦について
ア. 九州新人大会の予選を兼ねる。(10人立ち)
イ. 予選は、男子、女子の順に各自4射を行い、3中以上を準決勝進出とする。
ウ. 準決勝は、男子、女子の順に各自4射を行い、3中以上を決勝進出とする。
エ. 決勝は射詰競技で行う。優勝者が決まるまで射詰を行い、射詰競技9本目から8寸星的使用する。他の順位決定は遠近法により決定する。
オ. 予選・準決勝・決勝とも順立ちとする。
- 6 参加資格 「平成30年度大分県高等学校新人大会実施要項」の参加資格に準ずる。
- 7 参加制限 (1) 団体競技
ア. 1校男女とも1チームとする。
イ. チーム編成は、監督1名・選手3名~5名、補欠2名の計4~8名とする。
選手3名以上を団体扱いとする。
ウ. 選手の交代については、登録された補欠との交代のみを認め交代した選手は、以後補欠とみなす。1回の交代で、補欠2名同時に交代できる。
以下のように団体戦の交代回数を定める。
I 一日目…監督会議前または試合中に1回
II 二日目…監督会議前に1回
III 決勝トーナメント…試合毎にリセットする。ただし、立順の入れ替わりはできない。
(2) 個人戦
個人戦出場資格は、支部予選において男子10射6中、女子10射5中以上の中した者。

- 8 参加申込 (1) 期限 平成 30 年 9 月 28 日 (金) 必着
 (2) 方法 申込用紙は高体連ホームページから入手し、下記により期限内に行う。
 ア. 様式により作成し、1 部印刷・捺印して下記に郵送する。
 イ. 校長の承認を得た申込電子データは、メールで送信する。(ファイル名：競技名/校名/監督名)
 (3) 宛先 〒870-0133 大分市大字葛木509 鶴崎工業高校内
 弓道申込先責任者 麻生 勲 あて
 メールアドレス asou-isao@oen.ed.jp <データ受付期間：9月28日 12：00必着 >

- 9 参加費 選手(補欠を含むエントリー) 1人につき 加盟校 600円・非加盟校 1000円。大会当日の受付で納入する。

- 10 出場権の獲得 男女とも団体戦 1～4位の高校及び個人戦 1～3位の者に、九州新人大会の出場資格を与える。

- 11 組合抽選 第二回専門委員会 平成 30 年 10 月 2 日 (火) 10 時～ 大分商業高等学校
 ※立順は、専門委員会において抽選基準に基づいて厳正に抽選する。

- 12 連絡事項 (1) 服装は、弓道着又はユニフォーム(肩線のない白シャツ、校服のズボン・スカート・白靴下)とする。
 (2) 鉢巻きを使用する場合は、無地とし、肩にかからない長さとする。
 (3) 弓具・服装の点検を行い、違反選手には行射させない。
 (4) 頭髮にリボンを着用することは禁止する。
 (5) ゼッケンは、右腰前に付けること。なお、サイズは全国大会の形にできるだけ合わせること。
 布地は白。県名と学校名の文字は黒、
 番号は男子が黒文字、女子は赤文字で記入。
 (6) 呼び出しに絶えず気を配ること。
 点検に遅れる等して、第一控「起立」の号令 12cm
 に間に合わなかった者は失格である。
 (7) 選手は大会競技規則を熟知し、違反のない
 ように競技に臨むこと。
 ア. 甲矢を射る時、乙矢を取り矢すること。
 イ. 矢番え動作後、筈から弦が離れた場合「筈こぼれ」となり、その矢は失格である。
 ウ. 監督は道場内の選手に、発声又は動作で合図やアドバイスをしてはならない。選手も同様である。
 (8) 事故防止に最善を尽くさなくてはならない。そのため指示された危険区域(矢取り道・看的所横・
 巻き葉練習場)には立ち入らない。応援者も競技運営に整然とした態度で臨む等、協力して欲しい。
 (9) 選手宣誓は、前年度女子優勝校の大分豊府高校とする。
 (10) 各支部長は、支部予選大会後直ちに、大会結果報告書を専門委員長に提出すること。
 (11) 競技開始前の的前練習はできない。
 (12) 台風等の荒天の場合は、予備日に変更する可能性がある。

